

平成 24 年 10 月 18 日

一般社団法人 日本木材学会 産学官連携推進委員会主催 見学会

「木材利用の現場を見る」開催のお知らせ

木材は、製材やボード原料などのマテリアル利用に加えてバイオマスエネルギー燃料としても利用が拡大しています。「再生エネルギー全量買取制度」が始まるにあたって木材チップの利用について議論が交わされましたが、産業界における現状はどうなっているのか、まずは実際の現場を見る見学会を企画いたしました。

産業界からのご協力のもと、普段気軽に入れない現場を、各回 40 名の会員限定で見学いたしますので、奮ってご参加下さい。

ご案内する見学会は、産業界から 2 企業グループのご協力を得て関東圏で企画しました。今後、賛助会員等からのご協力が得られれば、他地域等での開催を含めて別途追加企画したいと考えております。

1. 【発電@川崎：木質バイオマス発電所と燃料チップ製造工場】

建築解体材、樹木剪定枝、間伐材などを燃料とする出力 33,000KWの国内最大規模バイオマス専焼発電所と木質廃材をチップ化する工場の見学。

2012 年 11 月 20 日(火)13:00～17:00

13:00 JR 川崎駅集合 バスで移動

13:30 木質燃料チップ製造工場（ジャパンバイオエナジー(株)）見学

14:15 木質バイオマス発電所（川崎バイオマス発電(株)）見学

15:20 見学終了 バスで移動

16:00 意見交換会（羽田タートルサービス(株) 貸会議室）

話題提供者：赤羽元氏（林野庁）

「(仮) 木質バイオマス関連施策・制度と国内全体の流れ」

17:00 解散（京急「穴守稲荷駅」・東京モノレール「天空橋駅」まで各徒歩 5 分）

2. 【PB 製造@つくば：パーティクルボード製造工場と原料チップ製造工場】

建築解体材などを原料として一日 360t のパーティクルボードを製造している工場とチップ化工場の見学。ボードに利用できないものはバイオマス発電の燃料に。

2013 年 1 月 18 日(金)13:00～18:00

13:00 つくばエクスプレス みどりの駅集合 バスで移動

（秋葉原駅 12:15 発「区間快速」乗車、12:58 みどりの駅着）

13:10 チップ製造工場（(株)ヤマゲン つくば工場）見学

14:00 バスで移動

移動車中で工場説明：山本 拓氏（日本ノボパン工業(株) 代表取締役）

15:00 パーティクルボード製造工場（日本ノボパン工業(株) つくば工場）見学

16:00 意見交換会（同工場内会議室）

話題提供者 1：足立幸司氏（秋田県立大学 木材高度加工研究所）

「(仮) 木質バイオマスのマテリアル利用」

話題提供者 2：梅咲直照氏（住友林業(株) 筑波研究所 所長）

「(仮)産業界と木材学会との連携」

17:00 バスで移動

18:00 つくばエクスプレス つくば駅で解散

（つくば駅 18:20 発快速乗車、19:04 秋葉原駅着）

【諸注意】（各回共通）

・見学先施設は一般公開していません。今回の参加者は、日本木材学会会員に限ります。また見学用の設備がない施設ですので、安全確保のため、参加人数を限定します。なお見学中の移動は用意されたバスを利用し、自家用車は集合場所付近の有料駐車場に預け入れ下さい。

・参加の際には、少々の汚れは気にならない、裾や袖口の締まった服装と、歩きやすい靴をお選び下さい。ヘルメット等が必要な場合は、主催者側で用意いたします。

・各回とも、バス貸切りや意見交換会会場使用料、損害保険料等、見学に係わる諸費用を賄うため、参加費¥3,000 円を徴収いたします。なお、公費による支払いはお取扱いいたしませんので、現地受付時に現金でお支払ください。収受の際、参加申込者名義の領収書をお渡しいたします。

・最後になりますが、同業の技術関係者については、見学をご遠慮していただく場合があります。お申し込みをいただいた見学希望者の名簿は、見学先担当者に提示・確認して頂き、諾否を回答させていただきます。また見学場所によっては、写真撮影が出来ないことを予めご了承下さい。

【申込方法】（各回共通）

・参加希望の会員は、会員宛に配信されているメール、ウッディエンス等をご覧ください。

1. 「発電@川崎」：2012年10月31日(水) 申し込み締め切り

2. 「PB 製造@つくば」：2012年12月25日(火) 申し込み締め切り

なお、募集定員に達した場合は、締切日にかかわらず、受付を終了します。

以上